

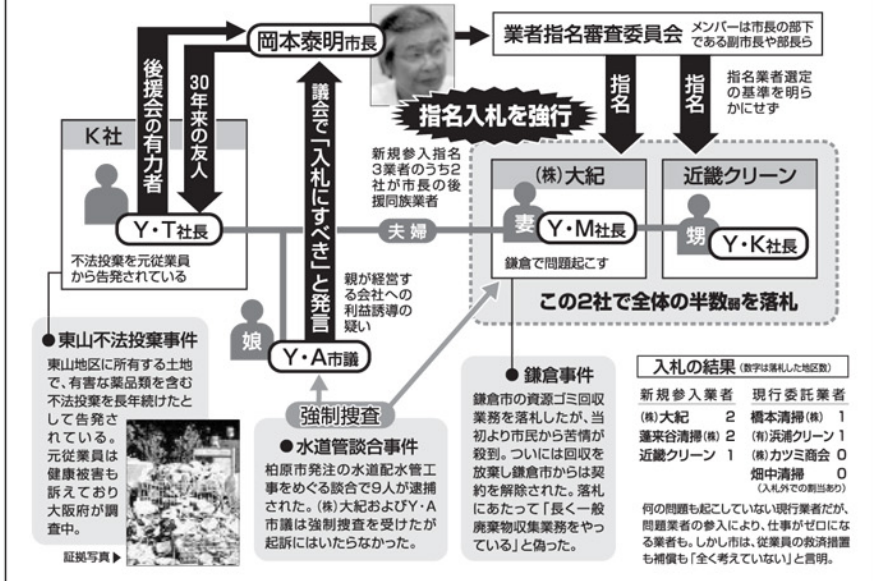


代表 はまうら佳子

〒582-0026
柏原市旭ヶ丘2丁目4番25号
電話 072-977-5502
FAX 072-977-8782

かしわら見張り番

家庭ゴミ入札をめぐる疑惑の構図



業者指名審査委員会 全員が市長の部下

問題業者の指名なぜ

新規参入の指名業者として今回落札した「大紀」が、一昨年、鎌倉市で請け負った資源ゴミの回収業務を放棄し契約を解除された。前科があることは前号で紹介した。なぜ、こんないかげんな業者が指名入札に参加できたのか、誰しも抱くこの疑問について市は明確に答えていない。

また、指名業者を選定した審査委員会はどういう人物で構成されているのか、についても個人のプライバシーを楯に返答を拒んできた。そのため、浜浦清子議員が行政文書の開示請求をしたところ、業者選定の経緯については「議事録はない」と、木で鼻をくくったような返答であった。

後者については、別表のようなメンバーであることがわかった。副市長や財務部長など、全員市職員が占められている。審査委員会というから第三者による公平

他の自治体で問題を起こした業者が指名業者に名を連ねるなど、柏原市が強行した家庭ゴミの入札制導入は疑惑だらけ。しかも、指名業者を選定する審査委員会はすべて市の職員だった。

公正な選定が行なわれたかのような印象を受けるが、そうではなかった。身内の職員ばかりだからか、トップ(市長)の意向に沿った結論が出るのは当然である。

今回の入札で落札した大紀と近畿クリーンは同族企業であり、岡本市長の後援会の有力者「Y氏」がオーナーであることはこれまで再三指摘してきた通りだ。この二社で四三%以上のシェアを獲得したわけだから、半世紀にわたる委託契約を廃止して指名入札を強

行した本当の狙いがここにあってはならないかという疑惑は深まるばかりだ。

過去に問題を起こした業者を指名した2つの指名審査委員会のメンバー

委員長の中川喜美治・副市長、松安雅文・財務部長のをはじめ、委員全員が市の部長や次長ら「身内」だ。市民の代表や有識者など外部の第三者はひとりも入っていない。しかも市は、委員をなすを公表した。密室での指名業者と

一昨年、問題を起こした大紀の事件を報じた「神楽川新聞」と、鎌倉市が記者に記った記者発表資料



一般競争入札が原則 公平性確保のため国も指導

本来、役所発注の事業は、指名入札ではなく、一般競争入札にするのが原則。役所があらかじめ業者を選定して入札を行なう指名競争入札は、担当官の「裁量」の幅が大きすぎて、公正さに問題が出てきてしまっている。

透明性、公平性を徹底するなら、一般競争入札にするべきで、国もそう指導している。しかも、柏原市の場合、一年先の事業なのだから、期間も充分にある。柏原市と同じく来年四月

から家庭ゴミの収集業務を民間に委託する和歌山市では、一般競争入札にしている。参加資格の条件は、①公的機関から業務の許認可を得ていること、②三年以上和歌山市に事業所を置いていること、③税金の滞りが

ないこと、など。この条件を満たす業者であれば、誰でも参加できるわけだ。

であるのに、柏原市は最初から指名入札にこだわった。なぜか? 落札結果を見れば、特定の業者に利益を与えたい、と言われてもしかたがないだろう。

疑惑をそのまま放置すれば、来年から問題業者がゴミ回収を開始する。その結果、市民サービスの低下や混乱を招くことがあつてはならない。

特別業者指名審査委員会

◎中川喜美治
◎辰巳英彦
◎稲田邦敏
◎松本健太
◎松安雅文
◎米岡淳一
◎奥田隆一
◎乾 至克

◎委員長
◎副委員長

◎松安雅文
◎米岡淳一
◎奥田隆一
◎石井幸幸
◎乾 至克
◎松井久尚
◎諏訪幸広

◎委員長
◎副委員長